

令和4年



月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

■塗りつぶしの日 は休館です。

『東大名誉教授がおしえる! 建築でつかむ世界史図鑑』

本村凌二/二見書房/209 円

「建築」を見れば、歴史・経済・人間がわかる! 世界初の公共事業であるピラミッド、ドイツ統一と引き替えに建てられたノイシュヴァンシュタイン城など、352 の建築物を通して、古代から現代までの人類の足跡を解説する。世界中の名建築から、かつてそこにいた人々の軌跡を辿る旅にでませんか?



『卒論・修論研究の攻略本』

石原尚/森北出版/002.7 円

“戦略思考に基づく問題解決能力”で卒論・修論研究を攻略! 研究テーマの設計法から、結論の導き出し方、論文・スライドの作成手順までわかりやすく解説する。各種ツールがダウンロードできるダウンロードサービス付き。



『神社とは何か』

新谷尚紀/講談社/175 円

身近すぎて普段考えることはなかったが、考えてみると不思議な存在の「神社」。文献史学、遺物考古学、民俗伝承学という3つの学問の協業という観点から日本の神社の歴史を追跡する。

『最澄と天台宗のころ』

桑谷祐顕/平凡社/188.4 円 雑誌コーナー

日本天台宗の祖、伝教大師最澄の1200年大遠忌を記念し、その生涯と教えを、要点を押さえた解説とカラー図版で伝える。高僧たちの系譜や、天台の秘仏の美、比叡山の歴史と現在なども紹介。

『江戸幕府の御家人』

戸森麻衣子/東京堂出版/210.5 円

徳川將軍の直臣1万5000人~1万8000人の名もなき武士たちは、どのように採用され、どこに住み、どのような場所で、何の仕事に従事していたのか。御家人に対象を絞り、その職務や身分のあり方を総合的に解説する。

『戦時下の日常と子どもたち』

佐々木賢/青土社/210.7 円

太平洋戦争敗戦までの約50年、戦争に明け暮れた日本。学童疎開・戦争孤児・学徒動員・教練・差別・空襲…。戦後教育の現場で奮闘してきた著者が、戦時における庶民の生活体験に焦点を当て「負の歴史遺産」について綴る。

『北条義時』

岩田慎平/中央公論新社/289.1 円

源頼朝の側近として鎌倉幕府の樹立に貢献後、有力御家人を排斥。父を追放して執権職を継ぎ、甥の実朝と姉政子を支えて幕政を主導。承久の乱で鎌倉勢に勝利をもたらす。公武関係の変遷を辿りながら、北条義時の生涯を描く。

『「印象」の心理学』

田中知恵/日本実業出版社/361.4 円

あなたは「人を見る目」がありますか? 人は知らないうちにバイアス(思考のくせ)の影響を受けている。他者や自分、集団に対する印象がどのようにつくられるのか、印象に関わるころのメカニズムを説明する。

『学校史に見る日本』

五味文彦/みすず書房/372.1 円

時代の要請により生まれ、時代とともに変化してきた学校。古代の大学寮から足利学校、藩校・塾・寺子屋、そして現代まで、学校から日本を見る通史。写真や図版も掲載する。学校名・人名索引付き。

『最強に面白い!! 光』

/ニュートンプレス/425 円

空気は無色透明なのに、空はなぜ青く見えるのか。夕方にはなぜ赤くなるのか。太陽の光から虹、オーロラまで、光と色のすべてをわかりやすく解説する。コラムや4コマ漫画も掲載。

『エビはすごいカニもすごい』

矢野勲中央公論新社/485.3 円

なぜエビ・カニは茹でると赤くなるのか。なぜエビは跳びはね、カニは爪先で歩くのか。エビ・カニとシャコやドカリとの違いとは。多種多彩なエビ・カニの、体のしくみやすごい生き方を紹介する。

『人の研究を笑うな』

藤田紘一郎/ワニ・プラス/491.9 円

自分の腸でサナダムシを育てる。海外出張のお土産はカバンいっぱいのウンコ。人も寄生虫も「地球のパラサイト」にすぎない…。みんなが嫌う寄生虫や細菌、熱帯病の研究に没頭した藤田紘一郎の、涙と爆笑の一代記。

『大工のすすめ』

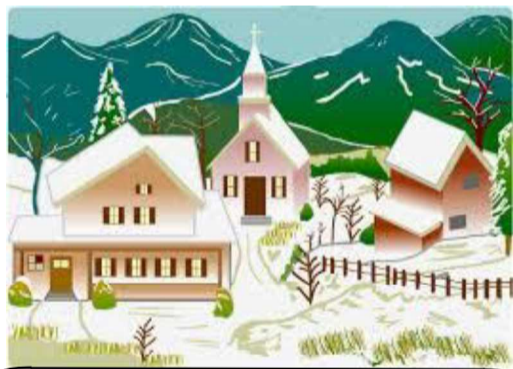
秋元久雄/PHP 研究所/520.6 円

高学歴者が大工を目指して入社を希望する平成建設。建設業の内製化、大工の養成を続けて増収増益で成長している平成建設の経営を紹介するとともに、大工になりたがる若者が多い理由を解き明かす。

『世界のときめく毛糸の図鑑』

西東社編集部/西東社/594.3 円

海外47ブランド、約200種の毛糸を写真とともに紹介。ブランドの特徴、毛糸のデータ、ブランドおすすめの糸色などがわかる。毛糸の基礎知識、かわいい作品8パターン、人気ニット作家達が語る海外毛糸の楽しみ方も掲載。



『ノスタルジア喫茶』

イスクラ/グラフィック社/596.6 円

80年代後半、食糧不足のソ連では、人々は加工品を駆使して家庭でおやつを作り、受け継いでいった。ラズベリーの甘味水、ワルシャワ風カッターチーズのケーキ…。ソヴィエト連邦のおやつ事情&レシピを写真と共に紹介。

『近江を中心とした伝統野菜文化史』

佐藤茂/養賢堂/626 円

近江ショウガ、矢島カブ、杉谷とうがらし…。主に近江に関連する在来野菜について史・資料を調査・吟味し、また実際の栽培観察もあわせて、それらの系譜を考察。東北地方の在来野菜・伝統野菜もとりあげる。

『木箱ラベルの時代』

林健男/IBCパブリッシング/675.1 円

戦後間もない時期にスケッチ屋さんと呼ばれた画家を志す人々の手によって描かれた、くだもの木箱ラベル。地方の景勝地なども描き入れられた昭和レトロの真骨頂であるラベル等の作品群を収録。パッケージ印刷の歩みも紹介。

『鉄道旅のトラブル対処術』

松本典久/天夢人/686.5 円

列車が運転見合わせで止まってしまったら? 列車内で忘れ物をしたら? 乗り遅れの対策は? 鉄道旅で遭遇するさまざまなトラブルと対処法を紹介する。『旅鉄』編集部に寄せられたトラブルや疑問をもとに書籍化。

『大人が楽しいトランプゲーム30選』

すごろくや/スモール出版/797.2 円

ボードゲームに匹敵するほど面白い! 世界中のトランプゲームの中から、「大人こそ楽しい」ゲーム30種を厳選し、その遊び方をていねいに解説する。本体は背表紙なし糸綴じ。

『日本語はこわくない』

飯間浩明/PHP 研究所/810.4 円

「ご苦労さま」と「お疲れさま」、どっちを使う? 「よろしかったでしょうか」は間違い? 「おざなり」と「なぞざり」はどう違う? ことばを楽しむ41編を収録する。『PHP』連載を書籍化。

『英語の前置詞使いわけ図鑑』

清水建二/アスコム/835.6 円

よく使う英語の31個の前置詞の使いわけを、ニュアンスをイメージ化したイラストで紹介。語源や他の前置詞との比較に触れた解説、豊富な例文や熟語も掲載する。英文音声のダウンロードサービス付き。

『警官の道』

呉勝浩/KADOKAWA/913.68 円

刑事事件化されなかった交通事故に隠された真実、パディを組む上野署の刑事が抱える秘密、性犯罪の捜査に乗り出した女刑事が見たもの…。次世代ミステリー作家7人による書き下ろしを収録した警察小説アンソロジー。

『歴史探偵開戦から終戦まで』

半藤一利/文藝春秋/914.6 円

歴史を愛し、誰よりも愉しんだ半藤一利による未収録エッセイ集第3弾。太平洋戦争下の日米両海軍の軍人をリーダーシップの観点から分析するとともに、ヒトラーとは何者なのかを考察。戦中~戦後の大相撲の思い出などもつづる。



図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

◆◆ホームページアドレス◆◆ <https://www.library.otsu.shiga.jp>



行事予定は裏面へ